

# 無線通信研究委員会

## TG 6/1 会合

(ジュネーブ)

## 報告書

2020年10月19日 ~ 2020年10月23日

# 目次

1. まえがき.....	3
2. 会議の概要.....	3
2.1 会議の構成.....	3
2.2 主要結論.....	3
2.3 日本寄与文書の審議結果.....	5
3. 審議の内容.....	5
3.1 TG6/1 の構成.....	5
3.2 周波数の利用と需要(WG 1).....	6
3.3 共用/両立性検討(WG 2).....	9
3.4 CPMテキスト(WG 3).....	11
3.5 ラポータ、ラポータグループ、コレスポнденスグループ.....	12
4. あとがき.....	13
表 1 日本からの出席者 (10 名).....	14
表 2 入力文書 (23 件).....	15
表 3 出力文書一覧 (9 件).....	17

## 1. まえがき

WRC-23 議題 1.5「第一地域における 470-960 MHz帯の既存業務の周波数利用と周波数需要の見直しとこれに基づく規則条項の検討」の検討を行うために、CPM23-1の決定に従ってSG6 が設置したタスクグループTG6/1 の第 1 回会合が下記のとおり開催された。

開催日： 2020 年 10 月 19 日（月）～ 10 月 23 日（金）（5 日間）  
開催地： E-meeting  
議長： Sergey Pastukh（露, SG6 が指名）  
副議長： Abdulhadi Abou-almal（UAE, SG5 が指名）  
参加者： 48 ケ国+35 機関から 237 名（事務局除く、名簿登録者）  
日本から 10 名（表 1 参照）  
入力文書： 23 件（表 2 参照）  
出力文書： 9 件（表 3 参照）

## 2. 会議の概要

### 2.1 会議の構成

プレナリーにてTG6/1 の構成が議論され、以下の 3 つのワーキング・グループ(WG)が設置された。

WG1	周波数の利用と需要	議長： Darko Ratkaj (EBU)
WG2	共用/両立性検討	議長： Ronel Legrange (ナミビア)
WG3	CPMテキスト	議長： Abdulhadi Abou-almal (UAE)

### 2.2 主要結論

#### (1) TG6/1 の構成と作業計画

3 つのWGを設置した。CPM23-1 の決定に従い、TG6/1 副議長はCPMテキスト案の作成を担当するWG3 の議長を兼ねる。WG1 とWG2 の議長は、地域バランスを考慮し、欧州とアフリカから選出した。

今後の議論の状況によりGE06 に関する検討が必要になった場合には、ad-hocグループを設置して検討を行うこととした。

議長	露	Sergey Pastukh 氏	2020 年 2 月に SG6 で選出	
副議長	UAE	Abdulhadi Abou-almal 氏	2020 年 5 月に SG5 で選出	
WG1	周波数の利用と需要	EBU	Darko Ratkaj 氏	今回 TG6/1 で選出
WG2	共用/両立性検討	ナミビア	Ronel Legrange 氏	

WG3	CPM テキスト案	UAE	Abdulhadi Abou- almaal 氏	
マネジメントチーム		TG 6/1 議長、同副議長、SG6 議長、WG 議長のほか、CEPT, RCC, ATU, ASMG 及びイランから各 1 名		

NOTE : If needed, an ad-hoc group would be established by TG6/1 to deal with GE-06 agreement.

今後のTG6/1 会合の開催予定については、全 5~6 回の会合開催が予定されているが、COVID-19 の収束の見通しが立たない状況を考慮し、第 3 回（2021 年 10-11 月）会合で、その後の会合予定が決定される。

2021 年 5 月 15 日	寄与グループからの入力期限
第 2 回:2021 年 6 月 28 日から 7 月 7 日	CPMテキスト案の作成に着手
第 3 回:2021 年 10 月 21 日から 11 月 1 日	
第 4 回:2022 年 4 月	
第 5 回/6 回	最終会合は 2022 年 10 月初頭を想定

(2) 周波数の利用と需要(WG 1)

- ・ WRC-23 議題 1.5 の寄与グループであるWP5A、5B、5C、5D、6A、7Dに対しTG6/1 の準備状況を知らせ、関連情報の提供を要請するリエゾン文書を作成した。2021 年 5 月 15 日までに情報提供することを求めている。
- ・ CPMテキスト案の要素となる作業文書の構成案を作成した。文書中に「GE06 を考慮する」との文言を記載するかどうかや、周波数帯を 470-694 MHzと 694-960MHzに分けて記載することの是非について多くの時間をかけて議論された結果、「GE06 を考慮する」ことを記載し、周波数帯については「470-694 MHzと 694-960MHzの記載の仕方については今後検討する」と注記した。

(3) 共用/両立性検討(WG 2)

- ・ WP5A、5B、5C、5D、6A、7Dに対し、周波数利用と需要（470-960MHz）と、共用検討に必要なシステムパラメータ等（470-694MHz）に関する情報提供を依頼するリエゾン文書を作成した。2021 年 5 月 15 日までに情報提供することを求めている。（WP3K, WP3Mにもコピー送付）
- ・ WP3KとWP3Mに対し、共用検討に必要な伝搬モデル等の情報提供を求めるリエゾン文書を作成した。

(4) CPMテキスト案(WG 3)

- ・ CPMテキスト案の章立てを記載した作業文書を作成した。

- ・ CPMテキスト案のセクション 2（議題の背景）の内容を次会合で検討できるように、コレスポネンスグループで案を検討することとした。2021年4月1日より活動を開始し、議長はWG3 議長が兼ねる。

## 2.3 日本寄与文書の審議結果

日本からの寄与文書は無い。

## 3. 審議の内容

### 3.1 TG6/1 の構成

#### (1) TG6/1 の構成及び作業計画

入力文書：6-1/3 (Chairman, SG6)、6-1/4(Chairman, SG6)、  
6-1/5 (Director, BR)、6-1/8(ATU)、6-1/11(Ireland)、6-1/12（露）、  
6-1/13 (エジプト)、6-1/16(GSMA)、6-1/18(ジブチ、UAE)、  
6-1/19 (Chairman, SG 5)

出力文書：TG6/1 Draft plan、TG6/1 Structure、Text on Ad-hoc Group

審議結果：

#### 【WGの構成】

プレナリーにて、TG6/1 のWG構成が議論された。SG6 ステアリング委員会の意見に基づきSG6 議長から提案された4つのWGを設置する案(6-1/4)に対してATU(6-1/8)、RCC(6-1/12)、EBUから支持する意見が表明されたほか、CEPTは3つのWGと1つのAd-hocグループの設置(6-1/11)、エジプトは3つのWGの設置(6-1/13)、GSMA(6-1/16)及びジブチとUAE(6-1/18)は2つのWGの設置をそれぞれ提案した。主な争点は、GE06 関連検討のためのWG設置の是非、寄与グループによる検討との重複の有無、CPMテキスト案作成担当WGとの作業の重複であり、効率的な体制やmanageabilityの観点からも意見が述べられた。

提示された意見を踏まえ、TG6/1 議長から、以下の3つのWGを設置し、GE06 を議論するad-hocグループは必要性が生じた場合に設置する可能性を注記することが提案され、合意された。

- ・ WG1 周波数の利用と需要
- ・ WG2 共用/両立性検討
- ・ WG3 CPMテキスト案

#### 【WG議長】

CPMテキスト案作成を担当するWG3 の議長は、CPM23-1 の決定に従い、TG6/1 副議長が務めることが承認された。他の2つのWG議長については、TG

議長、副議長がそれぞれRCCとASMG出身であることから、CEPTとATUから出すことになった。WG2 議長については、ATUからナミビアのRonel le Grange氏の推薦があり、異論なく承認された。WG1 議長については、CEPTからの候補者はなく、ドイツからDarko Ratkaj氏(EBU)が推薦され、バチカンやスイスより賛同のコメントがあり、承認された。

#### 【マネジメントチーム】

TG6/1 議長から、TG議長、副議長、SG6 議長、各WG議長、第一地域の4つの地域グループの代表から構成されるマネジメントチームを設けることが提案され、合意された。CEPTからはKuhn氏(独)、ASMGからはMohammed氏(サウジアラビア)が推薦されたほか、ATUとRCCからも追って代表を連絡することになった。また、イランはこれらの地域グループには属していないものの、地理的に本議題に関係が深いため、イランからも代表を出すこととなった。

#### 【作業計画と今後の会合スケジュール】

TG6/1 議長から、今回から第5回又は第6回までの各会合の主な目標を記載した文書「Workplan for the development of cpm text on Agenda Item 1.5 of WRC-23」が示された。本文書は毎会合で見直されるものであり、また、COVID-19の収束の見通しが立たない周辺状況を考慮し、第4回以降の予定については第3回(2021年10-11月)会合で決定することとしている。

寄与グループからの入力期限：2021年5月15日

第2回：2021年6月28日から7月7日。CPMテキスト案の作成に着手。

第3回：2021年10月21日から11月1日

第4回：2022年4月

第5回/6回：最終会合は2022年10月初頭を想定。

イランより他のITU会合との重複を極力避けて欲しいとの要望があったほか、スウェーデンよりパラレルセッションやオフライン会合の可能性について確認された。具体的な対応についてはマネジメントチームで検討される。

### 3.2 周波数の利用と需要(WG 1)

WG1では、全3件の寄与文書を2回の会合で審議し、3件のTEMP文書を出力した。内訳は、1件のリエゾン文書案、1件のWG1作業計画案、1件のCPMテキストの要素となる作業文書の構成案である。

## (1) WG1 の所掌と作業計画

入力文書 : 6-1/20(Chairman, TG 6/1)

出力文書 : 6-1/TEMP/3

審議結果 :

WG1 は、決議 235(WRC-15)のresolves to invite ITU-R 1 に従い、寄与グループから提供される研究結果に基づき、CPMレポートに反映する文案を作成することが合意された。また、第 4 回会合までの作業計画が作成された。第 2 回会合でCPMテキスト案の作成に着手し、第 4 回会合で完了する計画であるが、今後のTG6/1 会合の審議状況に応じて都度調整されるとの脚注が添えられた。

## (2) CPMテキスト案の作業文書

入力文書 : なし

出力文書 : 6-1/TEMP/4

審議結果 :

タイトルを決議 235 (WRC-15) のresolves 1 と同じものとし、以下の構成の作業文書 (6-1/TEMP/4) が作成された。本作業文書は、寄与グループから提供される周波数利用と需要に関する情報の「保管場所」であることが脚注に明記された。

1 Introduction

2 Frequency allocations and radiocommunications services within the frequency band 470-960 MHz in Region 1

3 Spectrum use within the frequency band 470-960 MHz, in conformity with the Radio Regulations and taking into account GE06 Agreement as stipulated in the recognising a), b), and c) of the Resolution 235 (WRC-15)

4 Spectrum needs within the frequency band 470-960 MHz, taking into account GE06 Agreement as stipulated in the recognising a), b), and c) of the Resolution 235

4.1 Spectrum needs of the broadcasting service

4.2 Spectrum needs of the mobile service (except aeronautical mobile)

4.3 Spectrum needs of other existing services

5 Outcome of the studies

### 【周波数帯の記載の仕方】

スウェーデンは周波数利用について 2 つのバンドに分けて調査することに違和感を覚えるとコメントし、ナイジェリアがこれに賛同した。UAE、エジプトもWG1 でバンドを分けて調査することに懸念を示し、470-960 MHz全

体での周波数利用状況調査とすべきと主張した。イランは、議題 1.5 に基づき検討を進めるべきであり、バンドの明記を避けるのであればRRの業務に対する周波数分配表を参照する必要があると主張し、2 章に Note: Reproduce the relevant parts of the Table of frequency allocations, Radio Regulations edition 2020. を追記することを提案し、UAEがこれに同意した。

UK (Ripley氏) は、まとめの5章を設け、それぞれのバンドにおける検討結果を記載すべきと意見したが、UAEの意見を踏まえ、Note: The outcome should be suitable to be passed on to the WG3 for the development of the CPM text. Presentation of information between bands 470-694 and 694-960 MHz is the matter to be further discussed and decided upon. を記載することになった。さらに、"Note: The ways and means in which the spectrum use and spectrum needs are to be expressed require further consideration and decision, as appropriate."が追記された。

#### 【GE06 の扱い】

イランは、タイトルの末尾に taking into account GE06 Agreement as stipulated in XX of the Resolution 235 との文言を明記するよう提案したが、UAEとエジプトはこれに消極姿勢を示し、タイトル以外の放送のみに分配される周波数の章のタイトルに記載する、あるいは削除することを提案した。UK/ドイツ/フランスはイランを支持し、GE06 は放送に限定された合意事項ではなく、また、合意された事実であることから、タイトルへの明記かそれ以外の形で明記することを提案した。その結果、3 章と 4 章のタイトルに GE06 の考慮を明示することになった。

### (3) 第 1 地域の 470-960MHzにおける周波数の利用と需要

入力文書：6-1/1 (WP6A)、6-1/14 (フィンランド)

出力文書：6-1/TEMP/1

審議結果：

議題 1.5 に関連する番組制作用SAB/SAPについての課題について、WP6A からWP5A宛に送付されたリエゾン文書がTG6/1 にも情報として入力された (6-1/1)。特段の意見はなかった。

フィンランドから、同国の地デジの現状と予定を述べるとともに、放送配信の将来動向を考察し、470-694 MHz帯の柔軟な使用が長期的に効率的な周波数スペクトル利用につながるとの考えから、WRC-23 で 470-694 MHz帯を移動業務にも一次分配する可能性について述べた寄書が入力された (6-1/14)。UAEから、WG3 における検討対象でもあるとの意見や、イラン



からは、GE06 が参照されていることを考慮して欲しいとの意見があったが、WG1 では情報提供文書として扱い、周波数利用と周波数需要に関する作業文書を作成する際に考慮することとなった。

WRC-23 議題 1.5 の寄与グループであるWP5A、5B、5C、5D、6A、7Dに TG6/1 の付託条項を知らせ、周波数の利用と需要に関する情報提供を求めるリエゾン文書を作成した（6-1/TEMP/1）。コンタクトには、本リエゾン文書をそれぞれのWPで説明可能な者を記載することとした。

#### (4) WRC-23 議題 1.4

入力文書：6-1/22（WP5D）

出力文書：なし

審議結果：

WP5Dから、WRC-23 議題 1.4「2.7GHz以下のIMT特定された周波数帯におけるIMT基地局としての高高度プラットフォームステーション(HIBS)利用の検討」に関してWP4A,4C 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C, 7D宛に送付されたリエゾン文書がTG6/1にも情報として入力された。特に意見はなかった。

### 3.3 共用/両立性検討(WG 2)

WG2 では、全 6 件の寄与文書を 5 回の会合で審議し、3 件のTEMP文書を出力した。内訳は、2 件のリエゾン文書案と 1 件のWG2 作業計画案である。

#### (1) WG2 の作業計画

入力文書：6-1/20(Chairman, TG 6/1)

出力文書：6-1/TEMP/9

審議結果：

WG2 議長から提案された作業計画案が議論された。本文書には、WG2 の Terms of Reference（ToR）、会合予定と作業計画、作業文書の構成が記載されていた。議論する時間が足りず、作業文書の構成については議論できないまま出力文書（6-1/TEMP/9）が作成され、次回会合で継続検討することになった。

#### (2) 共用/両立性検討に関する情報収集

入力文書：6-1/17 (EBU)

出力文書：6-1/TEMP/2

審議結果：

470-694MHzで運用されるシステムの技術的及び運用上の特性、保護基準に

関して必要な情報を求めるため、WP6A, 5A, 5B, 5C, 5Dにリエゾン文書を送付する提案がEBUからあった（6-1/17）。

エジプトは、放送と他の業務間での過去の共用研究についての情報は不要と主張したが、EBUは決議 235 において既存の共用検討を考慮に入れるべきとしている指摘した。仏、TDF、GSMA、ロシア、UAEからも意見が出たため、オフラインでEBUが、仏、TDF、GSMA、ロシア、UAE、エジプトからの提案をマージして議論が行われた。

CA/251 Annex 9 decides<sup>4</sup> の曖昧さ（470-694MHz帯に分配がない移動業務のシステムパラメータ等の情報提供の必要性）を回避するためのエディトリアルな修正や、移動業務だけでなく既存業務すべてに関する情報の提供依頼を明確化した。最終的に、WP5A、5B、5C、5D、6A、7Dに対し、議題 1.5 の周波数利用と需要（470-960MHz）と、共用検討に必要なシステムパラメータ等（470-694MHz）に関する情報を 2021 年 5 月 15 日までに提供するように依頼するリエゾン文書案（6-1/TEMP/2）が作成された。コンタクトには、本リエゾン文書をそれぞれのWPで説明可能な者を記載することとした。

### (3) 共用検討のための伝搬モデル

入力文書：6-1/7 (WP 3K, WP 3M)

出力文書：6-1/TEMP/8

審議結果：

WP3KとWP3Mから、TG 6/1 に必要な情報を提供するためのWP3Kの体制や活動状況を知らせるリエゾン文書（6-1/7）が入力され、これへの返信について議論された。

EBUが、WP3K/3Mに対して共用検討に必要な伝搬モデル等の情報提供を求めるリエゾン文書案を作成した。これに対し、WG2 議長は、対面会議が行われるまで保留すべきと提案したが、仏は、WP3KのCG 3K-4 は質問を待っており、専門の組織も編成しているので、この機を逃さず、すぐに送るべきと意見し、最終的にリエゾン文書を送ることが合意された。

共用検討において建物侵入損失の値はどの文書を参照すべきか、どの伝搬予測モデルを選択すべきか、勧告P.1546 に更なる更新の予定があるか等の質問事項については、UAEやエジプトから、現時点で共用検討のモデルやシナリオが想定されておらず、質問内容が具体的過ぎるとの意見があったため、抽象化した質問項目とし、リエゾン文書（6-1/TEMP/8）が作成された。

### (4) 議題 1.5 に関連する業務の情報

入力文書：6-1/1（WP6A）、6-1/2（WP6A）、6-1/10（WP7D）、

6-1/15 (EBU)

出力文書：なし

審議結果：

議題 1.5 に関連する番組制作用SAB/SAPについての課題について、WP6AからWP5A宛に送付されたリエゾン文書がTG6/1 にも情報として入力された（6-1/1）。特段の意見はなかった。

WP6Aから、地上放送に関して必要な情報を提供するために作業を進めていることを連絡するリエゾン文書が送付された（6-1/2）。特段の意見はなかった。

EBUから、WRC-12, WRC-15に向けて行われた地上放送と他業務との共用検討結果を分析し、議題 1.5 で必要な共用検討の項目を提案するとともに、TG6/1 の作業文書の構成と作業計画の提案があった（6-1/15）。特段の意見はなかった。

WP7Dから、アフリカの放送エリアでは 606-614MHz帯が電波天文業務にも一次分配されており、アフリカの放送エリアを除く第一地域では 608-614MHz帯が電波天文業務に二次分配されていることを知らせるとともに、電波天文業務の保護基準の情報を提供するリエゾン文書が入力された（6-1/10）。特段の意見はなかった。

### 3.4 CPMテキスト(WG 3)

WG3 では、全 3 件の寄与文書を 2 回のWG会合で審議し、2 件のTEMP文書を出力した。内訳は、1 件のCPMテキスト案に向けた作業文書と、1 件のコレスポンスグループToRである。

#### (1) WG3 の作業計画

入力文書： 6-1/20(Chairman, TG 6/1)、CA/251

出力文書： なし

審議結果：

WG3 議長の提案により、時間短縮のためWG3 では作業計画を審議せず、プレナリーでの審議に委ねられた。

#### (2) CPMテキスト案

入力文書： 6-1/9(Chairman, CPM-23)、6-1/20(Chairman, TG 6/1)

出力文書： 6-1/TEMP/5、6-1/TEMP/6

審議結果：

CPMテキスト案の章立てを記載した作業文書が作成された（6-1/TEMP/6）。

次回会合での検討に資するため、CPMレポート案のセクション 2（議題の背景）を検討するコレスポネンスグループの設置がドイツから提案され、ToRを作成した（6-1/TEMP/5）。2021 年 4 月 15 日より活動を開始することに合意し、WG3 議長がコレスポネンスグループ議長に選出された。プレナリーでは、ドイツから活動開始を 2021 年 3 月 15 日とする提案があったが、イランが反対し、2021 年 4 月 1 日開始と修正された。

### (3) メソッド

入力文書： 6-1/14（フィンランド）

出力文書： なし

審議結果：

フィンランドから、同国における地デジの現状と予定を述べるとともに、放送配信の将来動向を考察し、470-694 MHz帯の柔軟な使用が長期的に効率的な周波数利用につながるの考えから、WRC-23 で 470-694 MHz帯を移動業務にも一次分配する可能性について述べた寄書が入力された(6-1/14)。WG1 会合で説明されたが、WG3 議長の意向でWG3 でも審議することになった。

WG3 議長は、現時点ではMethodを作成せず、次回以降の会合でその他の寄与文書と併せて検討することを提案し、エジプト、スイス、スウェーデン、ドイツ、UAEが議長レポート添付とすることを支持した。一方、スウェーデン、ロシアは、本文書は特定のMethodを提案しているものではなく、フィンランドの見解を示しているだけであると述べた。また、ロシアは、次会合以降に持ち越したところで具体的な検討内容が不明であると述べた。フィンランドは、本文書のうち、周波数の利用と需要に関してはWG1 の議長レポートに残すことを希望し、Methodの要素（470-694MHz帯への移動業務の一次分配）についてはWG3 又はTG6/1 の議長レポートに残すことを希望した。WG3 の議長レポートに、この入力文書にMethodとなる得る要素が含まれていることを記載することになった。

### 3.5 ラポータ、ラポータグループ、コレスポネンスグループ

以下のコレスポネンスグループ(CG)を設置した。

内容	議長
議題 1.5 のCPMレポート案のセクション2（議題の背景）の内容を検討する	Abdulahdi AbouAlmal (UAE)

#### 4. あとがき

WRC-23 議題 1.5「第一地域における 470-960 MHz帯の既存業務の周波数利用と周波数需要の見直しとこれに基づく規則条項の検討」の検討を行うタスクグループであるTG6/1 の第 1 回会合では、会議の構成や作業計画について多くの議論がなされた。2006 年に策定されたGE06 合意の扱いや、他の寄与グループに対して検討に必要な技術情報の提供を求めるリエゾン文書の内容などについて、参加国の意見調整が長引き、会議時間の延長や、最終日に急遽追加の会議が設定された。

議題 1.5 は第 1 地域の周波数利用・需要に関する議題ではあるものの、日本は第一地域に隣接する国であること、UHF帯は日本の放送でも広く利用されている帯域であること、さらに、放送業務と他業務との共用検討については共通の課題であることから、今後もTG6/1 の議論の動向を注視していく。

以上

表1 日本からの出席者 (10名)

氏名	所属
服部 恵二	総務省 情報流通行政局 放送技術課 課長補佐
植田 史菜	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係 係長
伊地知 大輝	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係
西田 幸博	日本放送協会 放送技術研究所 フェロー
神原 浩平	日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部 上級研究員
齋藤 進	日本放送協会 技術局 計画管理部 副部長
熊丸 和宏	日本放送協会 技術局 計画管理部
加藤 辰典	日本放送協会 技術局 計画管理部
甲斐 創	日本民間放送連盟(日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 渉外グループ 専門副部長)
當山 俊一郎	日本民間放送連盟(日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 放送実施部 主任)

表 2 入力文書 (23 件)

	入力文書 番号 (6-1/)	提出元	文書名	審議 (6-1-)	処理 文書番号 (6- 1/TEMP/)
1	[ 1 ]	WP6A	Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Party 5C and Task Group 6/1 for information) - Issues related to Services ancillary to broadcasting/Services ancillary to programme-making relative to WRC-23 agenda item 1.5	WG1 WG2	Noted Noted
2	[ 2 ]	WP6A	Liaison statement to Task Group 6/1 (copy to Working Parties 3K, 3M, 5A, 5B, 5C and 5D) - WRC-23 agenda item 1.5	WG2	Noted
3	[ 3 ]	Chairman, SG6	Proposed organization of the work of the Study Group 6	plenary	TG6/1 Structure
4	[ 4 ]	Chairman, SG6	Considerations with respect to the Organisation of ITU-R Task Group 6/1 for the preparation of the studies relevant to WRC-23 agenda item 1.5	plenary	TG6/1 Structure
5	[ 5 ]	Director, BR	Outcome of the sixteenth meeting of the Chairmen and Vice-Chairmen of the Radiocommunication Study Groups, Working Parties and other Subordinate Groups	plenary	TG6/1 Structure
6	[ 6 ]	Chairman, CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups)	plenary	Noted
7	[ 7 ]	WPs 3K and 3M	Liaison statement to Task Group 6/1 (copied to Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D and 6A for information) - WRC-23 agenda item 1.5 - Organisation of work of Working Parties 3K and 3M to support Task Group 6/1	WG2	LS
8	[ 8 ]	African Telecommunications Union	Organisation of ITU-R TG 6/1 for the preparation of the studies relevant to WRC-23 agenda item 1.5	plenary	TG6/1 Structure
9	[ 9 ]	Chairman, CPM-23	Information on the preparation of texts for the draft CPM Report to WRC-23	WG3	Noted
10	[ 10 ]	WP 7D	Liaison statement to Task Group 6/1 - Protection of the radio astronomy service in the frequency bands 606-614 and 608-614 MHz	WG2	Noted
11	[ 11 ]	Ireland	Proposals for the organisation of TG 6/1 and its associated work plan	plenary	TG6/1 Structure
12	[ 12 ]	Russian Federation	Organisation of ITU-R Task Group 6/1 for the preparation of the studies relevant to WRC-23 agenda item 1.5	plenary	TG6/1 Structure
13	[ 13 ]	Egypt (Arab Republic of)	Organisation of ITU-R TG 6/1 for the preparation of the studies under WRC-23 agenda item 1.5	plenary	TG6/1 Structure
14	[ 14 ]	Finland	Digital terrestrial television development in Finland	WG1 WG3	Noted Text
15	[ 15 ]	European Broadcasting Union	Sharing studies for WRC-23 agenda item 1.5	WG2	Noted
16	[ 16 ]	GSMA	Structure of Task Group 6/1	plenary	TG6/1 Structure
17	[ 17 ]	European Broadcasting Union	Proposed liaison statement from Task Group 6/1 to contributing Working Parties 6A, 5A, 5B, 5C and 5D (copied to Working Parties 3K and 3M) - Preparations of WRC-23 agenda item 1.5 - Information for sharing and compatibility studies	WG2	LS
18	[ 18 ]	Djibouti (Republic of) , United Arab Emirates	Proposal for the organisation of ITU-R Task Group 6/1	plenary	TG6/1 Structure
19	[ 19 ]	Chairman, SG 5	Note to Study Group 6 relating to CPM23-1 invitation to appoint a Vice-Chairman for Task Group 6/1	plenary	TG6/1 Structure
20	[ 20 ]	Chairman, TG 6/1	Considerations with respect to the work of ITU-R TG 6/1	WG3	Noted

21	[ 21 ]	BR, Study Groups Department	List of Documents issued (Documents 6-1/1 - 6-1/21)	-	-
22	[ 22 ]	WP 5D	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 6A, 7B, 7C and 7D - WRC-23 agenda item 1.4	WG1	Noted
23	[ 23 ]	Director, BR	Final List of Participants - Task Group 6/1 (E-meeting, 19-23 October 2020)	-	-
(注) Noted: 情報として取り扱った文書、Text: 議長レポート本文に文章を記載					



表 3 出力文書一覧 (9 件)

出力文書 番号 (6-1/ TEMP/)	文書名	審議 (TG6/1-)	入力文書 番号 (6-1/)	処理 (Annex)
1	-	TG6/1 Draft plan	Plenary	CR
2	-	TG6/1 Structure	Plenary	CR
3	-	Text on Ad-hoc Group	Plenary	CR
4	[ 1 ]	Proposed liaison statement from Task Group 6/1 to contributing Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 7D - Preparations of WRC-23 agenda item 1.5 - Information on spectrum use and spectrum needs of existing services within the frequency band 470-960 MHz in Region 1	WG1	LS
5	[ 2 ]	Draft liaison statement from Task Group 6/1 to contributing Working Parties 5A, 5B, 5C, 5D, 6A and 7D (Copied to Working Parties 3K AND 3M for information)	WG 2	17 LS
6	[ 3 ]	Anne xx to Task Group 6-1 Chairman's Report - Terms of reference and workplan of the Task Group 6/1 Working group 1 - Spectrum use and spectrum needs of all existing services in the band 470-960 MHz	WG1	CR
7	[ 4 ]	Structure of the working document review of the spectrum use and the study on spectrum needs of existing services within the frequency band 470-960 MHz in Region 1	WG1	CR
8	[ 5 ]	Terms of reference of Correspondence Group on agenda item 1.5	WG 3	CR
9	[ 6 ]	Working document towards draft CPM text for WRC-23 agenda item 1.5	WG 3	CR
10	[ 7 ]	Executive Report of the meeting of Working Group 3	Chairman, TG 6-1 (WG 3)	CR
11	[ 8 ]	Draft LS to Working Parties 3K and 3M [and to Correspondence group CG 3K-4] (copy for information to WP5A, WP5B, WP5C, WP5D, WP6A and WP7D) - Issues related to propagation for sharing studies in TG6/1	WG 2	7 LS
12	[ 9 ]	Considerations with respect to the work of WG 2 of Task Group 6/1: sharing and compatibility studies in the band 470-960 MHz	WG 2	CR
(注)CR: 議長レポートに添付、LS: リエゾン文書送付				